

一般社団法人 千葉県社会福祉士会
2023年度 第1回理事会議事録

1. 開催日時 2023年5月14日(日)10時～12時

2. 会場 千葉県社会福祉センター中会議室2

3. 出席者

会長	樽林
副会長	山口(利)、古澤、白井
事務局長	秦野
事務局次長	伊藤
会員理事	(総合相談委員会) 松本 (研修委員会) 浅見 (ばあとなあ運営委員会) 石橋 (司法福祉委員会) 宮下 (災害対策委員会) 服部 高橋、
外部理事	片山、中村、吉留
監事	市原、岡本(武)、
相談役	渋沢

計 理事 15名、監事2名、相談役1名

欠席 及川、四ノ宮、瀧澤、山下、水野、竹嶋

敬称略

4. 議題

(1) 会長と三役会からの報告

- ・ 新任予定の外部理事(菅野道生)について(本日欠席)
- ・ 役員人事・事務局人事について
- ・ 千葉県社会福祉センターへの事務局移転と事務室使用料の報告
- ・ インボイス制度に合わせた各研修の受講決定通知書の一部変更
- ・ 千葉県社会福祉士会選挙管理委員の公募について

(2) 議事

1. 新入会員の承認について
2. 倫理員委員選考委員2名の指名について
3. 2023年度第11回定時総会資料(案)について
 - ・ 2022年度事業報告の承認について。
 - ・ 2022決算報告の承認について
 - ・ 監査報告について
 - ・ 山下興一郎理事退任後の候補者菅野道生先生の承認について
 - ・ 倫理委員会委員の選任について

4. 談話室の開催について

5. スーパービジョン時の当会 zoom 利用の許可について（研修委員会）

(3) 各委員会報告事項に対する質疑

- ・ 災害対策委員会より追加資料<5月11日未明に千葉県南部で発生した地震への対応>

5. 議事録

○出席者の確認

事務局長より、現在出席者多数を認め、定款第34条により定足数に達しており、本理事会は成立すると報告。議案の審議に入った。

会長挨拶

新しい社会福祉センターができ、事務局も三団体での入居。新しくソーシャルワーカーになられたと仲間たちともこの会に参加することで、ネットワークでつながって、一人で問題を抱え込まないでもいいようなバックアップできる組織にして行きたい。震度5強の揺れがあって、災害対策委員会から情報発信があった。大きな災害が起こった時に生活が突然壊れてしまった人たちのお手伝いすることも私たちに求められている機能、1週間ぐらいは大きい地震が起こる可能性がある。本日はよろしく願います。

(1) 会長と三役会からの報告

○外部理事（菅野道生）新任について（本日欠席）

説明：会長

外部理事山下氏の後任候補菅野道生先生がオブザーバー参加予定だったが、本日は残念ながら欠席となった。

○役員人事・事務局人事について

説明：会長、事務局長

- ・ 秦野事務局長から白井副会長が新しい事務局長となる。伊藤事務局次長が副会長となる。秦野事務局長は事務局次長となる。時期は総会后から。
- ・ 各自より挨拶。
- ・ 事務局の1名が3月末で退職、1名がばあとなあ専門事務局職員として入職（週5回）。松戸事業は1名が3月末で退職し、1名が採用された。（週3回）

○千葉県社会福祉センターへの事務局移転と事務室使用料の報告

説明：事務局長

- ・ 3月16日に無事に引っ越しを終えた。前後電話等通じない時間帯について特に問題なかった。事務室使用料については資料の通り。

○インボイス制度に合わせた各研修の受講決定通知書の一部変更

説明：事務員

- ・ 資料の4-1～4-3まで会員からの請求書について消費税額をのせることになった。請求書を振り込んだものが領収となる。

○千葉県社会福祉士会選挙管理委員の公募について

説明：事務局長

- ・ 今年度役員選挙を実施する。2年前のものを踏襲する予定。まずは選挙管理委員会を募集する。

その他会長より以下報告あり。

重度な障害をもつ方が高校受験をしているが、定員内不合格に3年なっている。大阪では人権救済を弁護士が申し立てている。今月3日に、会長と渋沢氏が船橋市で活動をしている山田氏に話を聞きに行った。特別支援学校があるといわれるが、学校を決めるのは誰なのかという言葉にハッとした。学校を選ぶ権利は本人にあるということが認められていないという現状についてどうしたらよいか。弁護士会、社会福祉士会、その他5団体で千葉県の教育委員会で要望書を申し入れられたらよいのではないかと考えている。

3月に福祉と司法の勉強会で、こども若者アドボカシーのイベントを行った。福祉キャラバンとして、いろいろな地区でやっていきたい。8月20日に浦安市川地区で行っていきたい。会としても拡大地域集会として声をかけていきたい。会としても何ができるかを考えていきたい。

(2) 議事

○新入会員の承認について

説明：事務局長

44名の承認をお願いしたい。3名がキャンペーン該当の方である。
賛成の方挙手をお願いする。

→賛成多数と認め44人の入会は承認された。

○倫理員委員選考委員2名の指名について

説明：事務局長

宮下理事と石橋理事を選任したい。→満場一致で選任。
賛成の方挙手をお願いする。

→賛成多数と認め2人の選考委員指名は承認された。

○2023年度第11回定時総会資料(案)について

2022年度事業報告の承認について

説明：事務局長

資料のとおりである。前文のポイントのみ報告する。委員会報告は御覧の通りである。意見があれば月曜日までに事務局にメールで連絡し誤字脱字等の修正をする。
賛成の方挙手をお願いする。

→賛成多数と認め2022年度事業報告書は承認された。

○2022決算報告の承認について

説明：会長

孤独孤立の事務費等入れたところ、300万円を超える黒字となっている。毎年予算上は赤字となるのに最後黒字になるとなっている。多めの計上がずれているので、そのあたり執行理事の方は予算を正確に出していただきたい。

賛成の方挙手をお願いする。

→賛成多数と認め2022決算報告書は承認された。

○監査報告について

説明：監事

指摘するような事項はなかった。法令及び定款により、正しくおこなっていると報告する。理事の規約違反等もなし。適正に処理をされている。公益目的支出(188万円災害対策とばあとなあ)についても問題はない。以上を書面にした監査報告書を総会資料に出すことについて承認を求める。

→賛成多数と認め監査報告書を総会資料とすることについて承認された。

会長より、公益目的支出は一般社団法人になった単社団法人時の資産について公益目的で支出する計画を千葉県に提出しており、毎年200万円程度支出することになっている。この金額は、ばあとなあの公益目的事業と災害などに充てる予定であると説明。

○山下興一郎理事退任後の候補者菅野道生先生の承認について

説明：事務局長

日本ソーシャルワーク教育学校連盟より山下興一朗理事の後任として菅野道生先生の推薦があった。後任候補者として決定し総会へかけることの承認を求める。

→賛成多数と認め菅野道生先生を後任候補者と決定し総会議案承認された。

○倫理委員会委員の選任について

説明：石橋選考委員

弁護士会より佐久間貴幸氏、司法書士会より池亀由紀江氏、精神保健福祉協会より松尾明子氏、医療ソーシャルワーカー協会より新井尚美氏、当会から渋谷茂氏、宮本哲男氏、常陸谷政彦氏以上7名を候補者として決定し、総会にかけることにしたい。承認を求める。

→賛成多数と認め以上7人を候補者と決定し総会議案承認された。

○談話室の開催について

説明：副会長

事業、予算あり方委員会について会員同士の交流会をした。理事会の後に昨年開催をしてきた。周知が課題であったので、2023年度は年間計画を立てる。各委員会で近い企画は合同開催できればと思っていた。総合相談員会で年に二回相談に関する交流を図ることになっていて、研修委員会開催「このゆびとまれ」は収支が赤字で中止となっている。11月の企画は総合相談委員会の相談に関する交流、研修委員会ともコラボしてやれたらと思うが、ご検討いただけるか。委員以外につながる機会で談話室の活用があれば、ご意見いただきたい。

(質疑応答)

○スーパービジョン時の当会 zoom 利用の許可について (研修委員会)

説明：研修委員長

資料の11-1、11-2のとおり認定社会福祉士を受けるためのSV。基礎研Ⅲが終わった後に、生涯研修のステップアップのために認定社会福祉士を目指す方もいる。成年後見へ進む方が半分くらい。現在会ではスーパーバイザーのコーディネーターができていない。千葉県の会員スーパーバイザーは7名。うち3名は研修委員。全員推薦をしている。認定社会福祉士機構に登録している。スーパービジョンはオンラインで行ってもよいとなっている。会のZOOMを会のバイザーに貸し出せる仕組みをお願いできないか。

(質疑応答)

- ・ 認定社会福祉士のスーパービジョンはあくまで個々の契約。
- ・ スーパービジョンはネットワークの一つと考えている。
- ・ 質の担保も考えると会で契約まで介入はするのはどうかと思う。スーパービジョンの活用についての活用は確かに必要があると思う。限られた資源についてはTeams等も個々のツールについても検討が必要かと思った。
- ・ 委員会で一つGoogleアカウントをとるのはどうか。災害対策委員会はそのような形をとっている。
- ・ ぱあとなあの受任者は個人のアカウントを利用していると思う。スーパーバイザーについて貸し出すと、広がってしまう。会のZOOMアカウントを付加するのは難しいと思う。ぱあとなあと同じ基準で考えていってはどうか。
- ・ 1対1はZOOMでなくてもという意見はあるがどうだろうか。
- ・ 研修委員長：提案事項について皆さんの理解を得ていきたい。個々人の活用ではなくスーパーバイザーのネットワークの会議には利用したい。

(3) 各委員会報告事項に対する質疑

- ・ ぱあとなあ330名の方のうち20人を除いて、1900の方がシステムをつかっての入力ができた。対応できなかった約1割がついてどうしていくかというのが課題になる。
- ・ 他県で支払いは収納代行機関をつかっているところもある。収納代行機関についても検討が必要ではないか。

- ・ 他会からも収納代行のことを聞いている検討が必要。会員も会員外も皆同じホームページを見ることができているが、会員用ログインページも必要ではないかと思っている。
- ・ 外部理事：リーガルサポートもオンライン化を10年前にしたが、どうしてもできない方は近隣の会員を派遣した。
- ・ 外部理事：精神保健福祉士会としても研修等をご一緒したい。建物も一緒になり、今後の連携をますますよろしく願いたい。ICTについては議事もなかなかICT化できていない。同じ日総会を行う。代議員制ではない。
- ・ 外部理事：弁護士会では後見関係の報告については、監督はない。選任されたときと終了の時には報告となっている。7月からWEBフォームでの入力をはじめることになった。裁判でも民事ではコンピューター提出も出てきているが遅れているので、社会福祉士会を参考にしたい。

会長：では、以上をもって第1回理事会を閉会する。

事務局次長：次回第2回理事会6月25日(日)10時～12時予定、同日午後第11回定時総会である。場所は共に社会福祉センター3階大会議室である。本日はお疲れ様でした。

12時00分閉会